

【一般質問】答弁書振分け(令和7年3月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	平川 幸司	1. 上下水道事業について	(1) 水道事業について ① 水道管の現況について ② 水道管の更新計画について ③ 経営改善と今後の見通しについて ④ 料金改定の必要性について(他市の状況を踏まえて) (2) 下水道事業について ① 下水道管の現況について ② 今後の対策について		
		2. 中学校の部活動について	(1) 白杵市における中学校部活動の地域移行に向けた取り組みについて ① 現在までの進捗状況について ② 見えてきた課題について ③ 今後の考え方と方向性について		
2	河野 巧	1. 白杵市立小・中学校のあり方及び子どもの教育について	現在、小・中学校の適正規模、適正配置について検討委員会が設置され、このほど「白杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)」が公表され、パブリックコメントや地域説明会が開催されました。 子どもたちは、予測困難な社会を乗り越え生き抜くための知識と知恵、行動力や判断力を身につける必要があると考えます。そこで、白杵市の教育で大切にしていること、それを実現するための教育環境である小・中学校のあり方について伺う。 (1) 白杵市で育ち、学ぶ子どもたちに対する小・中学校の教育環境はどうあるべきだと考えていますか。 (2) 地域説明会での意見について ① 統廃合ありきの計画に見えるとの意見への対応について ② 説明会前の意見聴取(子ども、保護者、地域)について ③ 地域の中心としての小学校のあり方について ④ 通学区域の弾力的運用について ⑤ 施設整備について ⑥ 地域説明会での質問への回答と今後の説明会について (3) これまでの小規模校の良さをどのように認識されていますか。また、統廃合した場合、その良さをどのように維持されますか。 (4) いじめ、不登校、不登校気味の子どもに対する具体的な配慮についてどのように考えていますか。 (5) 白杵市が考える小中一貫校の設置に対する考え方について (6) 白杵市が考える小規模特認校の設置基準、設置数、特認校のあり方をどのように考えていますか。		
		2. 各種補助金について	人口減少、少子高齢化が進む中、国からの交付税や税収等は減少傾向にあり、地方自治を進める上で収入減少に伴う予算のあり方の検討が今後益々重要になると考えます。そこで、国や県から市を経由する補助金及び市が単独で交付する補助金がこれまでどおりに交付され続けるのか疑問に感じています。また、補助金が交付されるための手続きの流れや個人や団体(事業者)の選定、金額の適正をどこで判断し、どこで見直し、どこで公表しているのかその実態について伺う。 (1) 補助金を交付している個人及び団体(事業者)の数とその金額について ① 医療分野について ② 高齢者、福祉分野について ③ 農林水産分野について ④ 産業経済分野について (2) 補助金交付決定の手順及び審査基準や見直し時期について、また、過去5年間の補助金の返還件数とその理由について (3) 今後、新たな補助金を交付する際の考え方や基準、年間支出予定金額について (4) 現在補助金を交付している団体の見直し時期やその方法、また、補助団体と補助事業の内容の公表について		
		3. 旧県立野津高校跡地について	旧県立野津高校跡地の利活用事業者の負債総額が未だに明確に公表されないまま、再活用に向けた取り組みが行われています。しかし、人口減少が進む中、収支のバランスがとれない事業については官民それぞれが役割分担をしながら地域振興を考えていかなければならないと考えます。そういった中で、多世代交流館やかんしよの広域選果場として、予算をかけ活用する計画が進んでいます。そこで、昨年以降の白杵市多世代交流館を含む旧野津高校跡地施設、グラウンドについて伺う。 (1) 旧野津高校跡地を利用するためにこれまでかけた費用の内訳と総額について (2) 破産した利活用事業者の負債額及び対応等の現状について (3) 旧野津高校跡地グラウンド再活用について ① かんしよの広域選果場候補地要望に対する検討経過について ② 広域選果場の建設にかかる費用について、広域市町とJAの費用負担割合と白杵市の負担額及び今後必要となる関連経費等(関係機関とJAおおいの負担割合と補助金等)の試算について ③ 「広域選果場は雇用の創出」と言われた新規就労人員について (4) 旧野津高校跡地の教室棟等の再活用について ① 白杵市多世代交流館の運営について ② 体育館や柔剣道場の耐震性に関するその後について ③ 民間への売買について ④ 年間維持費用及び今後必要となる経費について		

【一般質問】答弁書振分け(令和7年3月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
3	広田 精治	1. 特定団体をめぐる市営住宅の運営、財政支出等について	(1) 同和対策事業で整備した市営住宅の運用にあたって、一般公募によらず、入居者を旧地域改善対策事業地区住民に限定し、特定団体の「証明書」を添えて申込みする「しくみ」について伺う。 (2) 特定団体の定期刊行物の公費購入について ① 月刊「部落解放」の直近3年間の購入冊数と支出額及びその配布先。 ② 「解放新聞」の公費購入の有無。有ればその部数と年間支出額。 (3) 本市における特定団体への「過度な配慮」の有無について。		
		2. 学校給食の無償化事業について	(1) これまでの学校給食における保護者の負担軽減策は、就学援助制度認定者の給食費全額、特別支援対象の半額負担で対応。今回、全児童・生徒の無償化へ拡充させた市長の思いと、本事業の目的、意義について伺う (2) 子どもの食の「安全・安心」を重視したほんまもん農産物等を活用した取組の継続、拡充について伺う。 (3) 無償化のための安定的な財源確保について伺う。		
		3. 公立学校のあり方に関する基本計画(案)について	白杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)について、対象となる7小学校区で地域説明会が開催され、どの会場も非常に高い関心が示された。遅い保護者・住民への説明、性急な進め方への不安も多く出され、特に小規模校地域の保護者、住民、教師から小規模校のすぐれた教育の在り方、地域コミュニティの核としての学校の役割など存続の要望・意見が多く語られた。 説明会は参加者が計画(案)に実直に向き合ったものであり、両者間で交わされた今後の取組、引き続き意見交換での合意形成が求められる。以下伺う。 (1) 学校統廃合は教育にとって大切な問題であると同時に、校区を基盤とする地域コミュニティなど地域住民全体に関わる重要な問題。保護者、住民の声に寄りそって議論を尽くし住民合意を得ながら進めるべきという基本的姿勢について伺う。 (2) 文部科学省が示した2015年「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」は、「適正規模ありき」でなく、「小規模校として存続」の道も認めている。計画は5校を廃校するものとなっているが、どのような検討だったか、その内容を伺う。 (3) 学校は地域コミュニティの中心的存在。廃校により地域行事が減少し、住民同士の交流が薄れることで地域の活力が失われることが考えられる。どう受け止めているか伺う。 (4) 紙漉き文化(川登和紙づくり)の歴史を継承する川登小学校、田植え、稲刈りを体験している上北小学校など特殊・貴重な取組をどうするのか、保護者、住民と向き合い、解決・合意の方向性を見出すことが求められるが、思いを伺う。		
4	奥田富美子	1. 介護をめぐる白杵市の現状と今後の取り組みについて	訪問介護報酬改定により、ホームヘルパーの報酬が引き下げられ、人手不足に拍車がかかり今後、介護難・介護離職につながる事が心配されています。白杵市の介護をとりまく現状についてお尋ねします。 (1) ホームヘルパー不足が原因で利用者本人や家族の望む介護サービスの提供が受けられないことがありますか。 (2) ケアマネジャーも不足気味と聞いています。利用者ひとりひとりのケアプランを立てる大変な仕事の上に、資格維持のための研修や受講費の負担などがハードルとなっているようです。現状の把握と白杵市としての対応についてお尋ねします。 (3) 「地域包括支援センター」の周知について 野津の市民はどこに相談したらいいのかわからないという声を聞きます。野津事務所の周知についての認識とその対策についてお尋ねします。 (4) 介護職の人手不足解消に向けて、技能実習生の受け入れも視野に入れる必要があると考えます。 ① 技能実習生受け入れの現状についてお尋ねします ② 現在、白杵市では複数の事業所が技能実習生を受け入れているようです。 技能実習生受け入れのためには住居の提供・同一労働、同一賃金の支給、生活指導員・技能実習指導員・その他、実習生・職員の相談・監督を行う技能実習生責任者などが求められます。 その他、受け入れ施設側が宗教や文化・生活習慣に関する知識の共有や理解・言葉の指導を行う生活のサポートが必要であることや、監理団体との契約金など金銭的な問題もあり小規模施設での技能実習生の受け入れは制度的に困難と聞いています。介護関係の技能実習生受け入れが、スムーズになるように白杵市の働きかけで監理団体の立ち上げを考えてはいかがでしょうか。		
		2. 読書のまちづくりについて	白杵市は「うすき読書のまちづくりプラン」に沿って、市民総ぐるみで「読書のまちづくり」に取り組んでいます。その一環として「本が大好き・白杵が大好き・白杵っ子」育成のための「第3次白杵市こども読書活動推進計画」があります。 (1) この計画は令和3年度から令和7年度までとなっています。来年度が最終年度となりますが、次回の計画立案に向けて課題ととらえていることがありますか。 (2) 図書の選定や図書室の環境整備のために、小中学校には図書館専門員の配置が望まれます。白杵市では各学校に図書館専門員が配置され、「読書のまち白杵市」としての自慢ができることでした。ところが近頃は複数の学校を掛け持ちする図書館専門員さんがいると聞きます。 ① 複数校担当になった経緯とその理由についてお尋ねします。 ② 学校内での「図書館専門員」の役割の現状についてどのように把握していますか。		

【一般質問】答弁書振分け(令和7年3月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
5	伊藤 淳	1. 白杵市地域公共交通計画について	(1) 白杵市地域公共交通計画は、「住みごち一番のまち」を目指し、多様な移動サービスを活用して暮らしを支えるため、また地域公共交通に関する取り組みを計画的に進めることで、限られた資源を有効に活用し、持続可能な地域公共交通の形成を図っていくと示されています。そこでお尋ねしますが、「目標を達成するため行う事業及び実施主体」の項において、令和6年度から実施実験期間とされた以下の2事業について現況と今後の取り組みを教えてください。 ① 新規循環線の導入 ② 次世代モビリティの導入検討		
		2. 白杵市DX推進計画について	(1) 白杵市DX推進計画は令和6年度が最終年度となりますが、令和6年白杵市議会6月定例会において、執行部より、令和7年度からの次期計画の改定にあたっては、市民の利便性のさらなる向上と市役所の業務改革を念頭に長期的なビジョンを踏まえて策定するとご答弁されています。そこでお尋ねします。 ① 各種証明書のコンビニでの発行や「うすきラクまど」など、市役所に来るのが難しい方・利便性を享受できない方についてのサービスについて、現況と今後について教えてください。 ② デジタル化を活用した新サービスについては、今後地域振興協議会などを通じて説明をし、普及を図るとのことですが、取り組みについて教えてください。		
6	匹田久美子	1. 「デジタル地域通貨」について	(1) 導入を検討するにあたって、どのような効果・課題を想定しているか。 (2) 地域通貨の導入は地域経済やコミュニティなど地域全体の活性化が期待できるが、ボランティア活動や市の施策に資する市民活動などにポイント付与するシステムなども、検討の余地があるか。 (3) キャッシュレス決済は消費者の利便性の向上につながるが、スマホのアプリを利用しない人にとっても使いやすく、全体の利用率が高まるような工夫は考えているか。 (4) 地域通貨の検討にあたり、市役所内はもちろん、商工会、商工会議所、金融機関などの関係機関と連携し横断的に進める考えはあるか。		
		2. 「二地域居住」の推進について	(1) 白杵市における移住・定住促進の現状 (2) 令和6年11月に施行された「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律の一部を改正する法律」(二地域居住促進法)の内容に沿って検討を進める考えはあるか。 (3) 白杵市空き家バンクの利用の要件について (4) 移住希望者と受け入れ地域とのミスマッチを防ぎ、移住者を受け入れやすい地域のあり方を整えるために、どのような取り組みが考えられているか。		
7	戸 匹 映二	1. 避難所・避難生活者の環境整備について	(1) 避難生活者の支援体制について ① 避難生活者の支援に関する現状の体制と課題をお伺いします。 ② 災害関連死を防ぐために、高齢者等の要配慮避難者への福祉サービスの提供支援の必要性が増してきていますが、その現状と課題認識をお伺いします。 (2) 避難所の生活環境整備について ① 避難所での「清潔で安全なトイレ環境・温かい食事を提供するキッチンの設置・熟睡できるベッド環境」など、避難所生活での環境整備対策が提唱されてきていますが、市内指定避難場所での必要性や課題認識をお伺いします。 ② 指定避難場所となる体育館の冷暖房設備の配備についての考えをお伺いします。		
		2. 高齢者のフレイル予防対策について	(1) 白杵市のフレイル予防対策について ① 白杵市のフレイル予防対策について、現状の取り組みをお伺いします。 ② フレイルと認知症との関連性についての認識をお伺いします。 (2) 加齢による難聴からのフレイルについて ① 難聴によって引き起こされるフレイルについての認識をお伺いします。 ② フレイル予防対策の一環として、難聴への正しい理解の啓発、相談窓口の設置、早期発見の仕組みづくりなどの取り組みを白杵市も進めていただきたいと考えますが、その認識をお伺いします。		

【一般質問】答弁書振分け(令和7年3月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
8	安東 鉄男	1. 農業振興と地域資源の魅力発信について	農業などの産業振興や地域資源の魅力発信について重要な施策として掲げられているが、地元農家が直面する高齢化に伴う担い手不足や産地間競争に対する支援策が必要であり、また、農業に関連する地域資源を活用した観光振興策について新たなアイデアが必要であると考える。 そこで以下の項目について伺う。 (1) 農業の担い手支援策の強化について (2) 地産地消と販路拡大の支援について (3) 地域資源を活用した観光振興の新たなアイデアについて		
		2. 学校給食の無償化について	少子化対策や子育て支援の観点から、他の自治体では段階的な学校給食の無償化の導入が進んでいる例もあり、本市においても、市民の間で、学校給食の無償化を求める声が高まっている。 そこで以下の項目について伺う。 (1) 本市としての学校給食の無償化の方針について (2) 実現に向けた財源確保の可能性について		
9	梅田 徳男	1. 漁業の振興について	(1) 漁業を取巻く現状と課題等について我々の生活に美味しい魚介類を提供してくれている沿岸漁業の今後の振興を図る観点から、現状と課題等、以下についてお伺いする。 ① 漁業従事者と新規就漁者の数、平均年齢及び年取見込額の推移。 ② 漁業振興対策として実施してきた諸施策とその成果及び課題 ③ 後継者対策と今後の見通し (2) 今後の漁業振興に対する基本的な考え方と具体的な振興策について ① 新鮮で安全な水産物を安定して提供いただくためには、漁業従事者が安心かつ意欲をもって操業できる環境の整備と後継者の育成が極めて重要であり、急務である。 現状を踏まえ、今後の漁業振興に向けた基本的な考え方と実施すべき具体的な事業についてお伺いする。		
		2. 白杵市の「美化」に対する考え方について	(1) 観光資源や食文化を活かした施策、移住・定住施策などをより成果のある事業とするためには、『美しいまちづくり』が必須であると考える。 観光地、公共施設、市道及びその周辺、学校や駅、停留所などの美化に関し、具体的にどのような基準をもって対応されているのか、課題や改善策を含めお伺いしたい。		
10	芝田 英範	1. 白杵市の未来について	(1) 「白杵市の今を守り、未来に届ける」ための施策とその決意について (2) 新年度の重点施策について		
		2. 常陸太田市と姉妹都市提携10周年について	江戸時代後期、文化年間(1804年～1818年)白杵藩川登郷泊村の親孝行な姉妹、「つゆ」と「とき」の史実の物語。 (1) 姉妹都市提携10周年事業について ① 両市の二孝女顕彰会の交流について ② 川登小学校と常陸太田市水府小学校の交流について		
11	大塚 州章	1. 白杵市防災政策について	東北の震災から14年が過ぎます。 震災を契機に各自治体で防災体制を強化される中、白杵市も防災士の育成など多くの政策を行って参りました。 また、最近では、30年以内に南海トラフ地震が発生する確率が80％程度に引き上げられ、現実味を帯びて来ていることから、防災政策について次のことを質問したいと思います。 (1) 西岡市長の優先すべき具体的な施策の1つに「防災基盤等を含めた持続可能性の確保」とあります。 どういうイメージをされて具体的な政策のお考えがあるのかお伺いします。 (2) 市民の防災に対する意識の現状をどう捉えているのか、また、市民に望む防災の心構え及び具体的な対策についてお伺いします。 (3) 白杵市役所として今後強化していかなければならない防災政策、特に防災士の高齢化等具体的な施策があれば教えてください。		
		2. 道路政策について	今、3月20日に白杵港新フェリーターミナル竣工式典があり、いよいよ新しい港が供用開始となります。 白杵の新しい拠点が誕生することで、その期待は大変大きいものであります。同時に1 番の問題は港を取り巻く交通体系に課題が残されていると思います。 以上のことから次の質問をさせていただきたいと思います。 (1) 白杵港新フェリーターミナルからのアクセス道路を含めた道路整備に対して、西岡市長はどのような風なビジョンを持っていらっしゃるのかお伺いしたいと思います。 (2) 白杵駅や市内及び観光拠点等を結ぶ道路整備及び白杵駅周辺の整備による迂回路の必要性についてお伺いします。		
12	吉岡 勲	1. 孤独死への対応について	(1) 白杵市における孤独死の現状と対応について (2) 孤独死に対する白杵市としての今後の取り組みと改善策について		